

河川湖沼などの環境水中及び工場排水におけるアンモニア連続監視に優れた操作性と信頼性を実現。

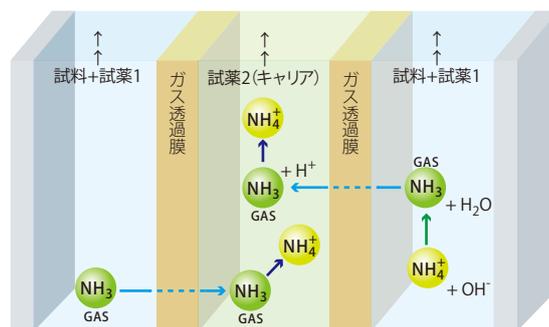
特 長

- 長期にわたって、ゼロ、スパンが安定しています。
(毎測定オートゼロ機能で、ゼロドリフトフリー)
- 逆洗浄機構を備えていますので、試料流路の汚れや目詰まりが少なくて済みます。
- 膜濃縮法*と導電率法の採用により、対数出力の電極法に比べ、高感度でリニアな計測が出来ます。
- ガス透過チューブにより試料中の妨害物質が除去されます。
- 自動感度確認機構により、適時、標準液による感度確認が行えますので、データの信頼性が増します。
- 濃度測定信号及び計測制御信号などのテレメータ端子を標準装備しています。
- 測定データは装置内部に一年分の記録保存が可能です。データは、USBメモリや、イーサネットに取り込み可能です。
- カラータッチパネル付液晶ディスプレイで対話形式の操作が行えます。



仕 様

型 式	WNH-7030
計 測 対 象	環境水中及び排水中のアンモニア態窒素濃度
計 測 方 法	膜濃縮法および導電率法
計 測 範 囲	0~10 mg/L(標準) 指定により0~1 mg/Lから0~100 mg/Lまで可能
計 測 精 度	フルスケールの±5%以内
計 測 周 期	30分または60分(実測時間 20分)
アナログ出力	DC 0~1V
デジタル入出力	Ethernet, USB1.1, RS-232C
使用電源	AC100±10V 50/60Hz
消費電力	100VA通常(最大200VA)
寸 法	約W564×D450×H1600 mm
重 量	約70kg(本体)

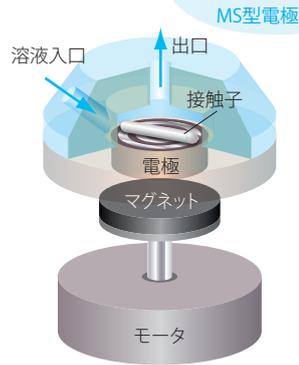


※膜濃縮法について

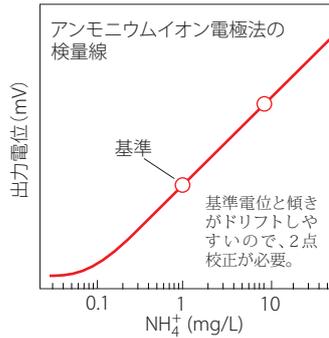
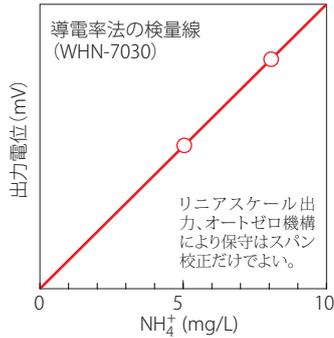
試料中のアンモニウムイオンをアンモニアガスとして揮発させ、このガスを透過膜を通し、キャリア液中に吸収、濃縮させます。この方法は、試料水中に含まれるアンモニアを選択的に分離することができるため、妨害物質を除去することができます。

導電率法について

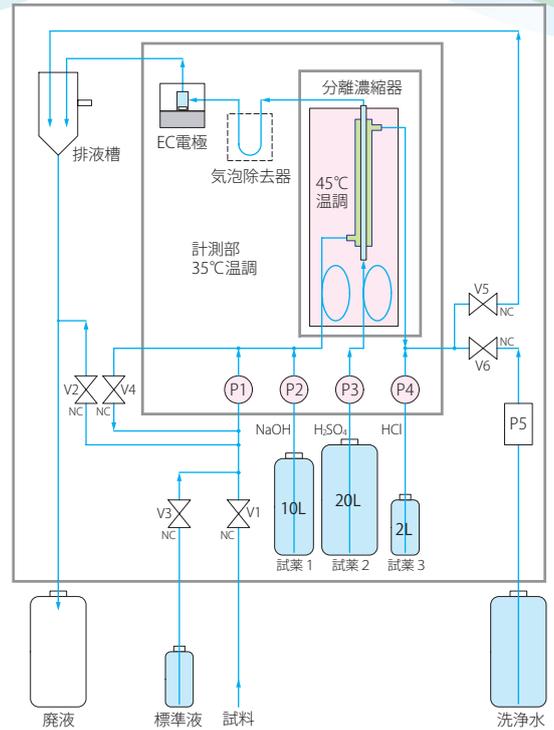
キャリア液の導電率の変化からアンモニア濃度を計測しますので、pH変化を計測するアンモニア電極法に比べ、リニアな計測が出来ます。また、研磨剤をコートした接触子を回転させることで、検液の電極への速やかな接触とともに、電極表面を常に最良の状態に維持します(MS型電極)。



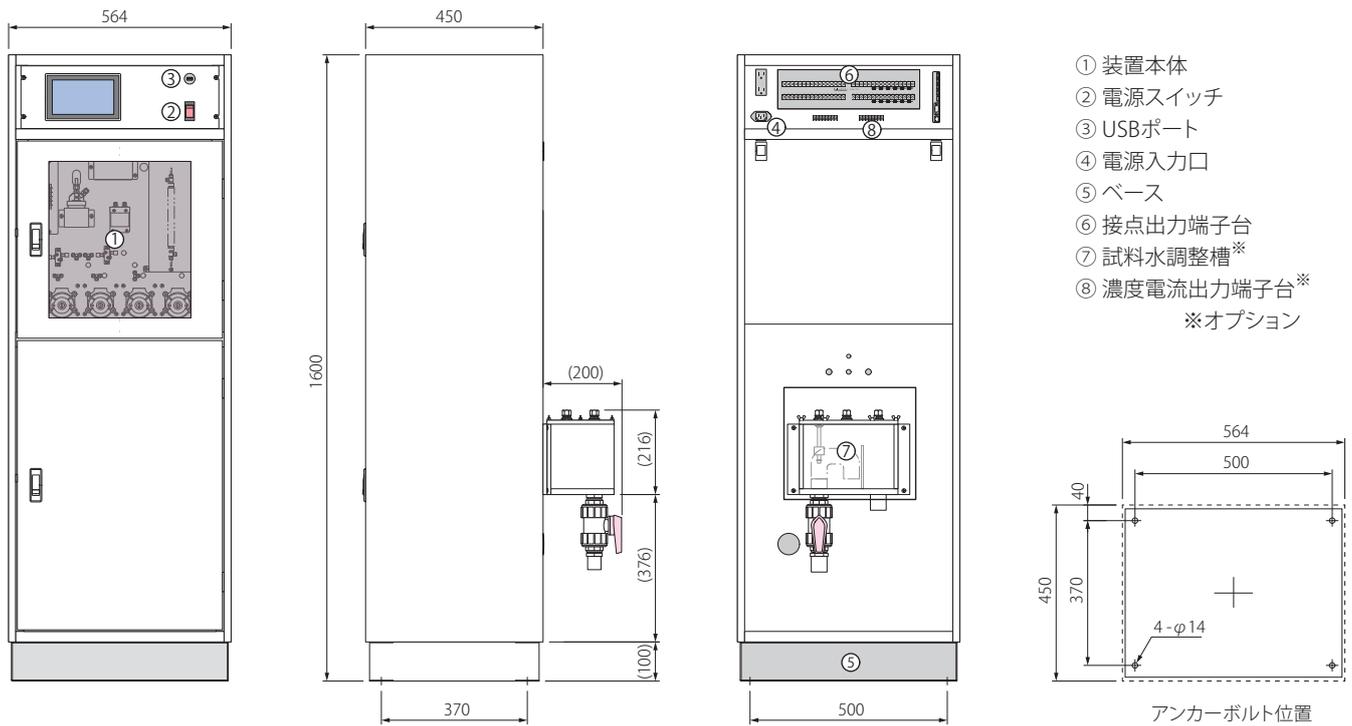
導電率法と電極法との比較



流路図



寸法図



安全に関するご注意

※ ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 ※ 水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

製品に関するお問い合わせは

KIMOTO 人・社会・自然の関わりをはかる

紀本電子工業株式会社

本社・工場 〒543-0024 大阪市天王寺区舟橋町 3-1
 TEL 06-6768-3401 FAX 06-6764-7040
 E-Mail sales@kimoto-electric.co.jp
 Web Site http://www.kimoto-electric.co.jp/